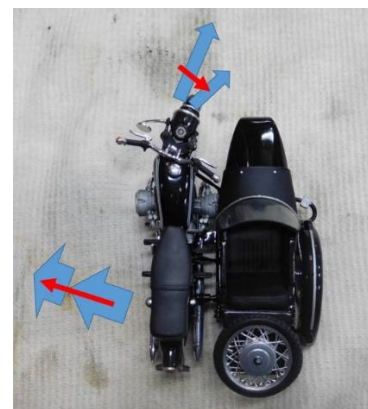
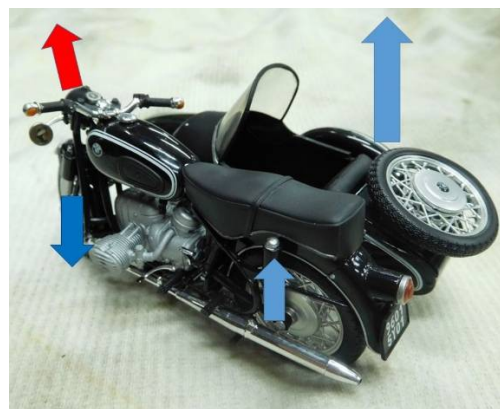
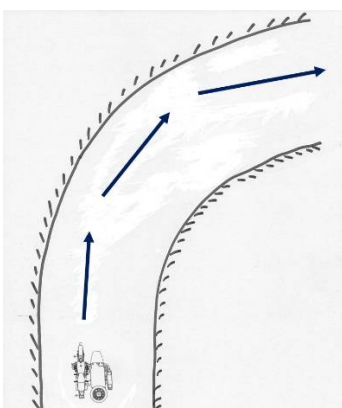


サイドカー自由自在09 多角形コーナーリング

ソロ・バイクのツーリングで市街地から山岳路に入ったばかりは体がまだ馴染まずコーナーで思い描くラインを取れなくてギクシャクすることがあります。サイドカーでも同じでワインディング走行のスイッチはすぐには入りません。スポーティー走行の慣らしテクニックとして、また初級レベルからステップアップするためのコーナーリング・テクニックとして覚えて損のない走行法です。

コーナーのキザミ方

右カーで右コーナーに入ったらアクセルそのままに右にステアする。後輪は抜重となり、遠心力が働き後輪グリップが低下して外側に流れます。ステア角度以上に車体が内側に向きます。コーナーのアールに合わせて何度か繰り返すことで多角形にコーナーリングすることが出来ます。メリットとしてはブラインドコーナーなどでコーナーに入って予想より回り込んでいるような場合でもキザミを追加で繰り返すことが出来るためオーバーランにならず安全に走行できます。このテクニックは平坦路または上り坂に有効です。下りコーナーではオーバースピードになる危険があるため後述する別のテクニックを併用することが有効です。



コーナーのRに合わせて刻む

右旋回時(赤矢印)の荷重移動

ステアとスライドの関係

慣れてくればステアとアクセル・オンと体重移動を同時に行うことで安定した走行が可能となります。ステアで制動が掛かる分、アクセル・オン加減で補正し、適正の速度を維持します。

ステップアップ・テクニック

多角形コーナーリングが自由自在に扱えるようになるとステップアップ・テクニックに近づけます。多角形が発展すると角がなくなり円周となります。多角形ではステアをきっかけに後輪を意図的にスライドさせますがこのスライドのコツを掴めればステアをきっかけにする必要はなくなります。ステリングはコーナーに合わせた状態でステア角とアクセル開度、体重移動でスライド状態を維持することが出来ます。穏やかにスライドするスイートスポットを大事に育ててコーナーをクリアしていきます。

映画「永遠のゼロ」で敵意を持った同僚が飛行中に後方から機銃掃射する場面が出てきます。

なぜか銃弾は微妙に逸れて事なきを得ます。主人公は同僚の敵意を感じていてリスクヘッジのため巧みなスライド飛行をしていました。感覚的にはこのテクニックと同じような匂いがします。

コーナーリング中のお釣り

タイヤ選定、空気圧、重量配分、サスセッティング、テクニックが充実していないと路面凹凸などによりチグハグな走行になります。流れたタイヤが予期せず再グリップしたりする反動を「お釣り」と表現します。予期できないお釣りは困りますがコントロールできれば次のアクションのきっかけとなります。

パッセンジャーやドライバーの体重移動のタイミングがずれると強い遠心力のために元の体勢に戻りにくくなる場合があります。「お釣り」のタイミングで次の行動がスムーズに移れます。

ワインディング走行には有効です。ソロ・バイク走行におけるハイサイドと呼ばれる現象と根本同じです。